

寺報

龍正寺

日なた 171号

花は根にかへり

真味は

王にととまる

報恩抄



<令和4年8月>

宝龍会
護持会

令和4年施餓鬼大法要



幡・水・香の水の部分です。
塔婆に水を向けして、御先祖様の御供養をしました。



コロナが続いています。前もって役員で皆様の御先祖供養・法要をさせていただきました。



告知也

令和4年8月18日(木)

法要終了後

唱題行をおこないます

皆様方御参加下さい

正しいお題目の唱え方を

学ばせよう。

龍正寺

狂職一言 (寿量品第16)

170号の続き寿量品です。

『我が智力是の如し、慧光照すこと無量に寿命無数劫久しく業を修して得る所なり、汝等智ある者、此に於て疑を生ずることなれば、當に断いて永く尽すべし、仏語は實にして虚しからず、医の善き方便をもって狂子を治せんが爲の故に、實には在れども而も死すといふに能く虚妄を説くものなきが如し、我も亦爲れ世の父、諸の苦患を救ふ者なり』

(解説) 仏の智の力はこの通りである。その智慧の光で大勢を照すことは無量である。どんな者でも仏の智慧をもって照らされない者はない。また仏の力をもって救われたい者はない。そうして仏の寿命はかぎりないものである。その仏の生命というものは、久しく業を修してうるところである善業をつんだ報としての寿命である。真に智慧のある者はこれをうたがっては存らない。ほんとうに人生の意義を、つきとめようという考の者は、虚偽の生活をまったくはなれねばならぬ。ほんとうに断いてながく尽すしめねばならぬ。仏の言葉は眞実であって決して偽りのないものである。たとえば、すぐれた医師が自分の子供が毒にあてられて気がくる

って いるのをなおしてやろうと思って 方便をもちて しばらく
遠くへ旅行し 実際は生きて いるのだけれども、お前の親は
は死んだと 言って 親を したわけ とうして 薬を 飲ませ せて 病を
なおした。この場合に 父なる 医師を うそつき とはいえない
であろう。子供を だました という ものは ない であろう。それと
同じである 筋は 世の中の すべての 父である。彼の 医師と 子
どのが とき とき ものである。世の中の 人を 救うべき 立場にある ので
ある。

その うそつき は ノケモノ でおたのしみ 下さい。

「我が家の仏様と大古様」

私の家は小牧市で小牧山城の付近にあります..
10年程前に建売住宅を買い、その際に両親の
供養に仏壇を購入して佐口上人に仏壇への
魂入れをして頂きました..。

また2年前には山梨県久遠寺に参拝の際に
大古尊天様との御縁を載せ、我が家の御守護と
子孫繁栄にと新たに大古様を佐口上人に勧請して載せました。

毎朝のお供え時に知室の仏壇と居間の大古様への
お経、回向、唱題を繰り返す日々です。

前夜に深酒をしまつた朝などは唱題だけの時もあります..
そんな時に佐口上人の「真(心)のお題目を一纏め唱えなさい」と
の教示を頂き、心掛ります..。

私は暗記している自我憐れなどはつい目を閉じても唱えて
しまう時があります... しかし目を閉じている時には
頭の中に雑念が混ざります..。

それは大古様の天神経を同じ時があります..。

今ではしっかりとお経本を見ても唱えるようにしています...

そうするとお経が言葉からと目からと両方から自身の身体に
入って来るように感じる事があります..。

以前に... 私が買っ物中に私が普段では買わない食材
やお菓子が目に留まり、無視し通り過ぎると気になってしまい
引き返して購入するという事度々ありました...

我が家の仏様が教えた下さっていると思、最近ではためらわずに
買いお供えをしております。

逆に家を出る前に仏壇にて「何が香がたり酒がめは教え
下さい」と言いますがそんな時は何も目に留りません。

それは私の仏様に対する心遣いのある言葉であるに自覚し反省あり。
先日寺院にて佐口と人との会話の中で

「貴方が思っている事は全て仏様に伝わっている」と
指適が有りまして。

また同じ時期に二人の出来事がありました...

私が買って来たお菓子のパンを居間に安置している大古久様に
お供えし、私は風呂に入り20分後に出来ると
お供えのお菓子が無くありません...ヤンと勝子に妻が食べ

たお菓子の取り。三宝台はその手にしている有り様に

私は妻を叱り、やん子大古久様に「申し訳ありません」

お許し下さい。」と

伝えました。

その時に私の耳にではなく、頭の脳の中に言葉が入り来ると

「あんなに見える」とテレビの砂は何とも不思議な

体験でしたが、大古久様が私の言葉に答えて下さると

深く感謝をいたしました。

私などは子育てや人生を四角四角で肩苦しい物事を
 考えしまひ自滅してしまふ事が何度か有りまひ。。
 最近ではそんな時に仏壇や大古久平様の前で
 「間違えてしまひか?」「どうか教えて下さひ」と欲が心で
 そり語りまひ。。

佐口の人から余計な事を考えるならお題目を唱えなさい!
 この言葉思い出して、どんな場所でも車の中でも
 苦しい想ひの時は唱えてまひ

モッモッ精選を車おて行きまひ。
 沢のあるお題目を唱えて行ける事に。。

イ本という寺院を大切にす

ある本の中に イ本という寺院を大切にすの題に目がとまりました。「健全な精神は健全な身体に宿る」

申し分なく豊かな人生を送りたいと思ったら、私達は体を寺院のように大切にあつかい、神聖なものと、考えてあげる必要がある。

定期的に運動をすれば、健康になるだけでなく、はきり考えられるようになって、創造性が高まり、われわれの日々を支配しているかのような過酷なストレスを処理できるようになるでしょう。

体のフィットネスに費やした時間ほど、すばらしいリターンが得られる投資はありません。

「運動する時間を作らない人は、いずれ病気のために時間をさくことになる」を読んで、私は、若い頃スポーツ全般こなして、特に水泳が好きで、よく泳いでいました。

40 年代の時イ本の不調が出始め、体がだるく動く事すらめんどうになり、運動する気も起らなかったようになっていきました。

マッサージ、整骨などのメンテナンスはするものの、基本となる体が少しづつ悲鳴をあげていきました。

筋力がなすすぎで、腰、膝、足首、手首に痛みがでるようになり、体が思うように動かなくなってきました。

そんな中、仕事の中に自分の体と精神的なところでバランスを崩し泣く事がでてきました。

思うように動かかない体、すぐ疲れ、手の脱力がある中で仕事はハード、仕事以外の仕事もあり、心の安定が保てなくなっていました。

体のえらさをわかってしましくてあちこちの病院に受診しても、結果は問題なく(数値上)

漢方の先生から「今をがんばるのではなく(無理に)、20年・30年先を見据えた行動にシフトしていく方がいい、がんばるや、やらない」という言葉がでている時点で無理をしている、と「ゴッゴ」と教えられ、自分から素直にSOS出していけばいいんだと思えるようになり、上司に伝え、すぐの変更は出来ませんでした。翌月の勤務は配属してもらったことはできました。スタッフへも今の体の状態を伝え協力してもらっています。

今も時々泣きは出ますが、仕事は休まず行っている事、周りのスタッフへの感謝、本当にめぐまれているこの環境に感謝し、体を大切にしよう日々心がけ過ぎています。



夏休み



夏本番がやってきましたね！ 体調管理を徹底し暑さを乗り切りましょう。

我が家の息子達は夏休みに入りました。弟は1日1時間だけ机に向かう事を決め、私が仕事の間も、ノートを広げているようです。毎日丸つけや確認をしなければいけないのに、私も忙しさを理由に、数日分のテキストの丸つけを始めた時の事...

仕事から帰ると、「今日分からなかった問題とかあった？」と聞いていました。「あ、はい」という息子の言葉は覚えていたものの、すぐに確認しなかった私にも悪かったです...。分からなかった所があったのに、全問正解。そして、算数は途中の式が振けていて、どう考えてもおかしかったのです。

これは答えを丸つけたんだよ... と思っていたながら、理解できているか、しっかりと確認していきまいた。答えられなかった息子に、「答えうっただけ？」と聞くと、目をうるませている姿が見られました。

分からなかったら答えを見てもいい。どうしてこの答え

になるのか考えてから書くように伝え、分かっているから、問題を一息者に解いていきました。

そして、似てはような問題を一人で正解することかできるふうになった時、息子はとても嬉しそうに顔を見せてくれました!!

昔の私なら、答えをうつしたのか「分かっている、頭はよいに怒っていたのを思い出し、その後はイライラのまま一息者に問題を解いて、子どもにとっては恐怖心ばかり残らなからたのではないかと反省しました。最終は分からないう問題の考え方を理解して解けるふうになったらしい。答えをうつしたことは、その過程でそれには理由がある。若い頃はこんな風に落ち着いて考えることができませんでした。〇

たくさん経験と学び、日々の感謝と反省が今の私を作ってくれています。

これからも試練はたくさんあると思いますが、心を落ち着かせて乗り越えていきたいと思っています♡

白蓮聖人降誕800年
記念公演 市川猿之助主演
歌舞伎「愛を知る鬼」

龍正寿さんでビデオでたのませて載
ました時に感動で胸がおどりました。
その後本を取り寄せ…拝読致しました…
白蓮を演じられました猿之助さんは
公演に当り 身延山の白蓮さんのお墓へ
秘かに参拝されたそうです…
公演の成功を祈られての参拝だったそうです
白蓮聖人の思いを受け止めて…明日へと
活力を感じて載けますようにと…祈られた
若い方々からもなんかカッコいい…みたいな
感覚で共感いただける部分もありますと

猿之助さん^がおっしゃるそうです 読経収録の
時にもみじとな読経に現場に立ち合われ
た方々もおどろきたそうです

日蓮宗の僧侶さんと一緒に唱えられた
その読経のお声が舞台に流れるのでしょうか？

盛り上がりか想像でます涙っぱいでは
ないでしょうか お珠数も身延で求められたよう

です 猿之助さんは尊い仏心が備わって
いらして下さる方ですから日蓮聖人のすばらしさを
心より演じていただけたのではないのでしょうか

日蓮大聖人がまじく現代に響みかえた。

そこには日蓮大聖人その人が説法をされて
いました… 見事にこの世が浄土でしたと
日蓮宗の総長中川法政さんが感慨深く

語られています 父・母が授けてくれました
ぬくもりのおかげで この道を究めてゆくために
自分は命を捧げて戦う…

鬼となる

日蓮大聖人はどなたへも手紙にて
いつと心よりのお言葉で励げまされていた
ようです 信徒さんなどには人間的な

温たかみが何よりも大事であること...

人が人らしくあること...それは人としての

振子舞いが大事 手紙にあふれる温たかみ

とユーモアが込められていたようです

そして又身体は常に養生せよとも...

おっしゃってます このお言葉の中にも慈悲の心と
込めて下さいます

歌舞伎公演の大成功が

降はした 素敵で感動の公演に猿之助

さんと共にあはれびのことと存じます

「まに人 此の人生を全き抜いたような

疲労感ですと話されています」
わたくしも心が躍ります
ありがとうございます

早朝朝日に
誓う日蓮である

南無妙法蓮華經

合掌

～ 人生再スタート開始 ～

例祭法要の読経、御住職の祈禱師としての迫力のあるお経と、妙泉寺の祖父江鳳紘上人の透き通るような凜としたお経が、本堂に響き渡り、本堂内の空気がさめやかに感じられ、心が浄化されていく思いがします。

還暦を目前にして、自分の臨終はどのような迎え方になるだろうと思う様になりました。

私の中では人生最大のイベントとして受け止めています。

決して派手な事を求めているのではありません。

私らしく最後を私なりの思いで迎え、浄土へ旅立ちたいと思っています。

葬儀に大変お世話になった佐口上人のお経を...
と思うのですが、年齢から考えると難しい事です。

御題目を唱えながら、鳳紘上人のお経を聴きながら浄土へ旅立つ事が出来たら...。旅立つ私の御題目と見送りして頂ける鳳紘上人のお経を頂けたら、どんなに幸せだろうと思いました。

法要後すぐ、鳳紘上人に旅立ちへの思いを語り

お願いをしました。

にっこりと微笑んで“私で良ければ …。”、このお言葉を頂きました。

ホッとしました。安心して迷いなく浄土への旅が出来る。自分自身でも驚くほど心が軽くなりました。

さて!! この先 残る人生をどのように生きて行こう。

“何か出来る?,” “何かしたい?,” 考えるとワクワクします。

若い時とは違って先が見えて来たからこそ、今出来る事を楽しもう。

「先、臨終の事を習うて。

後に他事を習うべし」

「妙法尼御前 御返事」 弘安元年 (1278年)

私らしく生きていこう。

御是夏目を唱え、ますます精進していきたいと思います。

< 8月行事予定 >

8月13日(土)	10:00~	宗祖日蓮大聖人報恩会
18日(木)	10:00~	鬼子母尊神 七面大明神) 祈禱会
28日(日)	13:00~	

< 8月住職の予定 >

寺院 = 法務

< 8月の予定 >

8月6日(土)	各々の時間で	清掃. 準備
↓	↓	↓
13日(土)	法要後	片付け. 準備
14日(日)	各々の時間で	清掃. 準備
↓	↓	↓
17日(水)		